

元気で躍進 地域経済

「木のぬくもりが売り」

キハタトレーディング デイニング ログハウスの介護施設、開所

ログハウスの設計、施工、販売を手がける(株)キハタトレーディング(本社〓松阪市鎌田町、喜畑隆之社長)は5月11日、ログハウス型のサービス付き高齢者向け住宅「木の香」を開所する。同社は、以前にも多気郡多気町笠木の特別養護老人ホームのコーディネートを手がけているが、今回は施設の運営も初めて手がけることになった。

この新施設は、国土交通省が大規模木造建築物の整備を促進するために設けた制度「木のまち整備促進事業」の補助金を受けた建物。先進的で汎用(はんよう)性のある設計や施工技術が認められたため、総工費約2億5000万円の内、約5000万円は補助金で賄われる。

県内で同事業に採択されたのは、同社がコーディネートを担当し、昨年4月に開所した多気郡多気町笠木のログハウス型地域密着型小規模特別養護老人ホーム「ときだの里」(岡井功理事長)に続いて2例目。



施設へ活用し、運営にも乗り出すことになった。

施設の規模は、敷地面積が928平方メートル、建築面積が552平方メートル、延べ床面積が1001平方メートルで、丸太組構法と軸組構法の混構造の木造2階建て。建設地は鎌田町58ノ3。設計は地主建築設計事務所(本社〓多気郡

多気町相可、地主昌美社長)が、施工は(株)平野組(本社〓北牟婁郡紀北町紀伊長島区、平野金人社長)が担当し、昨年10月中旬に着工。今月中にも完工し、5月11日に開所予定。

建物の1階はデイサービスセンターとヘルパーステーションの併設で、2階がサービス付き高齢者向け住宅となっている。デイサービスの定員は30人で、1階部分を利用する。2階部分は入居スペースとなっており、全15部屋で個室の広さは約18・3平方メートル。入居の条件は要介護認定を受けた65歳以上の単身高齢者で、デイとヘルパーの利用者は要支援認定を受けた高齢者も可。

担当者「他の施設よりも料金は若干高いかもしれないが、木のぬくもりや癒やしを生かした作りになっており、サービスもアットホームです」と話している。同施設は5月3、4、5日の午前10時から午後6時まで、内覧会を開く予定。

入居料金は、家賃5万8000円、食費4万5000円、管理費2万5000円、支援サービス費3万円の計15万8000円が基本の入居費用で、要介護1〜5の段階

5月11日の開所に向けて工事進む「木の香」
〓鎌田町で